

# 東海自然歩道「宇賀溪～朝明溪谷～小岐須」

(報告) Hama

◎日程 2017年5月26～28日

◎メンバー Hama (L)、Sachi、Mitsu、他1名

今回から三重県コースに入りましたが、ヤマビルに悩まされた3日間となりました。初日のスタート時点が雨(小雨)だったこと。ジメジメとした沢沿いが多くて殆ど人が歩いた気配が無く、コースは荒れていて枯葉がびっしりと堆積していたこと。シカやイノシシが増えている(地元の人の情報)こと等から、ヤマビルが大量発生という状況でした。養老山地はヤマビルが出るということで忌避剤(ヒル下ガりのジョニー)を持って行ったのですが、鈴鹿山脈は大丈夫だと思い込んで家に置いてきたのが失敗でした。この時期、どこの山域でも沢沿いのルートではヤマビル対策が必須です。ということで、全員ヤマビルに対するトラウマで、出そうな区間では殆ど休憩せずに必死に歩き、高低差が少なかったにも拘らず体力を消耗しました。

5/26 朝早い新幹線で名古屋駅に集合し、近鉄名古屋駅から富田駅まで行き、三岐鉄道に乗り換え伊勢治田(いせはった)駅へ。伊勢治田駅からは予約していたタクシーで国道421の宇賀溪入口まで入りました。スタート時の小雨は20分程歩いた水晶吊橋あたりでほとんど上がって、ジメジメした中を進むと階段状の登りで蠢くヒルを発見。「ヒルがいるよ」と皆で注意しながら八風牧場跡の広場に到着するも、既に全員の靴やズボンに10匹くらいずつのヒルが……。Sさんは脇腹を噛まれシャツが血だらけ。もう全員パニック状態でヒルを剥がす作業に没頭です。みんなどこかを噛まれ出血。小生も靴下が血だらけになりました。幸い全員虫除けに持っていたハッカオイルをスプレーするとヒルが外れること、少しは忌避の効果もあることが分かったので靴を中心にハッカオイルをスプレーしておく、以降は噛まれることが少なくなりました。しかし、ヒルがくっ付いているのをを見つける度に大騒ぎという状況は最終日まで続きました。



(宇賀溪入口)



(宇賀溪水晶吊橋)

本来であれば、宇賀溪から切畑までの区間は花も緑も美しいハイキングルートだと思うのですが、残念ながら我々は楽しむことができず、逆に、切畑の集落から朝明ヒュッテまでの舗装道路歩きを初めて

嬉しいと思って歩きました。

宿泊した朝明ヒュッテの宿泊客は我々4人のみでした。前日は子供たちの団体が宿泊していて、雨が降らなかったのでキャンプファイヤーもしたそうです。管理人ご夫婦手作りの夕食は豚カツがメインで美味しかったです。夕食1,000円、朝食500円は格安だと思いました。ちなみに風呂は400円でした。

5/27 晴れ。朝明ヒュッテからは迂回路を進む予定でしたが、どう考えてもヤマビルの餌食という感じだったので昨日歩いた舗装道路を朝明川の渡渉点まで戻ることになりました。前日は車が1台も無かった朝明ヒュッテを出て直ぐの

朝明ロッジ駐車場には既に50台ほど駐車していて、釈迦ヶ岳や周辺の山への登山者が大勢いました。我々は次々に上ってくる車に注意しながら渡渉点まで下り、飛び石を伝って対岸へ。対岸に渡ったら朽ちかけた東海自然歩道の案内板があったのですがその向きに騙されて迂回路へ少し入ってしまいました。



(朝明川 徒渉)

道標で朝明ヒュッテに戻っていることに気づきUターン。予想通り迂回路はヤマビルだらけでした。本線に戻っても迂回路ほどでは無いけれど湿った谷筋のルートでヒルが多く、ガイドブック等で紹介されている「なわたるみ堰堤」の石組みを見物する余裕はありませんでした。



(観る余裕も無かった「なわたるみ堰堤」の石組)



(左の帽子の上にヤマビルが！！・・・ 風越峠)

湯の山温泉では鈴鹿スカイラインと温泉街を直結する大橋の工事で東海自然歩道が通行止めになっていて、国道477を歩いて迂回するため見物スポットの蒼滝には直接行けなくなっていました。蒼滝まで下ってまた登ってくるのも大変なのでパスし、ついでに大石公園もパスして御在所ロープウェイ駅へ直行。山頂は風が少し強くて肌寒いくらいでしたが、シロヤシオがちょうど見頃で、タテヤマリンドウやイワカガミ、シャクナゲ等々、沢山の花を楽しめました。また、琵琶湖や伊吹山、伊勢湾の眺望も最高で、下界の夏日が嘘のような別天地でした。宿泊した国民宿舎・湯の山ロッジは温泉街から少し離れていますが、温泉街の宿と比べれば宿泊費もリーズナブルで、昭和が漂う溪流沿いの良い温泉宿でした。

5/28 晴れ。本来のルートは、湯の山温泉バス停から湯の森谷に入り、湯森林道に出て雲母（きらら）休憩所を経て宮妻口と辿るのですが、ヒルに対するトラウマのため沢沿いのルートは全員一致で回避。湯の山ロッジの車で近鉄湯の山駅まで送っていただき、湯の山温泉駅から湯森林道起点まで歩き東海自然歩道に入りました。ここからだど殆ど舗装道路のルートですが、足元を心配せずに歩けるというのは有難いことです。宮妻口の「もみじ谷」が近づくと、青空の下、広大なお茶畑が広がり、その向こうには伊勢湾と知多半島が望め、ほうとうにのどかな良い景色です。もみじ谷ではモミジにピンク色の可愛い翼果がいっぱい生っていました。宮妻口を抜けると内部川を渡渉しますが、渡渉点の手前で湿った林の小路と前が見えないくらいの笹藪があり、そこで付いたと思われるヒルを小生の靴に発見。今日も全員で他にヒルが付いてないか調べるハメになりました。幸い、小生の靴に付いてた1匹だけだったので、ハッカオイルで退治しました。右は杉林、左は茶畑の道をしばらく歩くと椿大神社（つばきおおかみやしろ）。椿大神社は古くて寂しい神社を想像していたのですが、参拝者で賑わっていて、綺麗で立派な大社でした。全国二千の猿田彦神社の総社だそうです。神殿に向かう新郎新婦ご一行も見物させていただきました。

参拝を済ませ本日出だしのショートカットで時間に余裕があったので参道の食堂でゆっくり食事をして今回最後の目的地である桃林寺へ。桃林寺は門前にお茶畑が広がり遠くに伊勢湾と知多半島が見えるこじんまりとした禅寺で、本堂の軒下には県指定文化財の県内最古の銅鐘が吊るしてありました。一帯は桜の名所でもあるとか。桃林寺からは、ほど近い小岐須バス停に余裕を持って到着し、時間通りにやってきた13:18発のバスに乗車。長い帰途につきました。途中、名古屋駅で明宝ハムを皆で大量に購入。7~8本買ったMさん、結構な出費もさることながら、さぞかし重かったのではないかと。

今回は、ヤマビルには参りましたが、振り返ってみれば2日目からは天気が良くそんなに暑くなかったこともあり、しっかりと観光も楽しむことができました、という感じです。海に向かって緩やかな丘陵に広がる茶畑は、本当に心が和む風景でした。



(四日市市宮妻町の茶畑)



(御在所岳山頂にて)

- 《記録》 5/26 三岐鉄道・伊勢治田駅（タクシー）10:25=10:35 宇賀溪入口 10:40-11:05 水晶吊橋-14:05 尾高観音  
14:30-14:50 三重県民の森-16:05 朝明ヒュッテ（宿泊）
- 5/27 朝明ヒュッテ 7:40-9:25 風越峠-12:00 湯の山温泉・御在所ロープウェイ・御在所岳山頂往復-  
15:10 国民宿舎・湯の山ロッジ（宿泊）
- 5/28 湯の山ロッジ（送迎車）8:00=8:05 近鉄・湯の山温泉駅 8:10-8:45 湯森林道入口-9:45 宮妻口-  
11:05 椿大社（食堂で昼食）12:00-12:30 桃林寺-12:50 小岐須バス停 16:10 名古屋駅にて解散（帰宅）